

第 6 章 ま と め

リフォーム研究部会 B グループでは、平成 5 年度～平成 7 年度の 3 年間にわたって、拡幅構造の事例収集や文献調査などを行ってきた。

初年度はリフォームに関する文献の収集を、2 年目は鋼橋の拡幅工事に関する事例の収集・分類を行った。最終年度はこれについてのまとめを行った。

途中、阪神大震災が発生し、震災復旧関連で全員が揃っての活動が困難な時期もあったが、ここに報告書の完成を見ることができた。

鋼橋の拡幅は、既設橋梁の構造形式や現場における制約条件などが異なるため、設計・施工の標準化やマニュアル化が困難な分野である。

本資料に記述した内容が全てのケースにあてはまるとは限りませんが、設計・施工に携わる方々に参考にしていただき、さらに合理的な拡幅工法の開発などに役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、長期間にわたってご指導、ご助言をいただきました東京都立大学の成田信之教授、前田研一助教授に厚く御礼を申し上げます。